

## バグダッド日誌(12月20日)

### ○ スキンヘッド その後の状況2

- ・トルコLO(空軍大尉)がスキンヘッド(剃りあげた)にした。今朝食堂で会った時、少し恥ずかしそうに近づいてきた。「どうしたの」と聞くと、トルコ国内では、天然の場合を除き、スキンヘッドは禁止されているが、ここでは適応外であり、以前からスキンヘッドにしたいと思っていたそうである。私がやったのを見て、決心したとのことであった。
- ・頭の形がいいので、私よりずっとカッコイイ。コアリッション内のもう一人の「人工」スキンヘッド(ルーマニア陸軍中佐)と3人並んで写真を撮った。これは、笑える一枚になった。
- ・奥さんの反応を聞いてみた。剃る前に電話で話したら、『やめろ』と言われたが、剃った後もう一度連絡したら、『伸ばしてから帰れ』と言われたらしい。どこの家族の反応も似たようなものだ。

### ○ 売店で演舞…(ドラゴン)危機一髪!

- ・キャンプ周辺にはいくつかのPXがある。そのうち最も大きなものが、キャンプ・リパティにある。そのPXに隣接して、イラク人が土産物売る店を出している「バザール」がある。
- ・昼食をたまにはいつもと違う食堂で食べようと誘われて、キャンプ・リパティに出かけてゆき、その帰りにPXに寄った。エル・サルバドルLO(海軍中佐)に「お前に見せたいものがある。」と「バザール」に連れて行かれた。
- ・彼が私に見せたかったものは「ヌンチャク」だった。「お前はこれが使えるか?」とブルース・リーのまねをしながら聞いてくる。子供の頃に通っていた空手道場で習ったと答えると、「見せろ」という。その会話を聞いていたイラク人の店員はすかさず私に「ヌンチャク」を手渡し、店内にいた米軍人達も興味ありげに寄ってきた。
- ・(土産物として売られている「偽物」だし、混んでいる店内で周囲の人に怪我でもさせたら嫌だしなあ)と思ったところに、「日本人だからできるだろう。」と米軍の若い兵士が絶好のタイミングで言った。これを言われると弱い。(そもそも日本人だからヌンチャクができるというのは変な話だ。) 断って「日本人なのにできない」と言われるのも頼にされる。少しだけやってみた。みんな興味深げにみていた。
- ・ここで調子に乗ってしまった。「こうやって振り回すだけなら、誰にでもできる。難しいのはこれを使って戦った場合、打撃した後、元のこの姿勢に戻るのが大変なんだ。これは偽物で短すぎるから使い物にならない。」と講釈をたれた。
- ・私がやって見せたことで、米兵達が自分もやってみようとしてヌンチャク手にしていたが、この一言の後、一斉に元に戻し始めた。ニコニコしながら見ていたイラク人の店員が何か言う前に、店を離れた。まさに「危機一髪」だった。



## バスラLO日々業務報告(12月20日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢): [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集: [REDACTED] (3) 定例会議への出席: 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	